

佐賀県立有田工業高等学校校歌

高田保馬 作詩

山本寿作 作曲

朝風清き泉山

瀬の音高き白川や

地は西海の涯なれど

我等が誇り思ひ見よ

史に見えたる名は永く

海の彼方に輝ける

誉れ普く陶業の

道は我等の身を伝ふ

伝統のすぢ高けれど

なほも積みゆく創造の

苦しみ日々 to 尽きざれば

工は永きわれらなり

あゝ柿右エ門何人ぞ

この日本の工芸の

精を双手に集むべき

我等が望み誰か知る

勉 脩 舎 芸 舎



納富 介次郎 (のうとみ かいじろう 1844~1918)
国内に4つの工芸・工業高校を創設しました。石川県立工業高校(石川県)・高岡工芸高校(富山県)・高松工芸高校(香川県)の校長として歴任した後、本校の初代校長として就任しました。日本の工芸・デザイン教育の基盤を築いた偉大な人です。

明治十四年夏有田
は今の有田町白川に陶器
工芸学校を開き勉脩学舎
と称した命名は皇族有栖山
熾仁親王淡筆の扁額に
よる
創設の主唱者は初代
白川小学校長江越礼太
実字を信奉した江越は東
西の新知識を子弟に学ば
せ実業界に新風を願う
私財を投じた奔走七年
がて地元窯焼き在京の
治家副島種臣大隈重
らの賛同と寄金を得わが
国初の職工学校として結
実した。校歴は十年余
の間秀抜
出し産
有田工業
思うに
創造の

本校の校歌は、大正十四年に創立二十五周年記念として作られました。